

石岡市の改革取り組み状況

～平成30年度見直し版 石岡市行財政改革実施計画進捗状況～

1 行財政改革の取り組みについて

第2次石岡市行財政改革大綱に掲げるテーマ「行政資産の強化と公共サービスの最適化」の実現を目指し、4つの取組方針、46の実施項目を掲げ、毎年度ローリング（見直し）を行っています。

平成29年度実施率 78.3%

取組項目 46項目中、36項目実施中



2 主な実施内容

1. 財政運営の充実

実施率 73.7%

事務事業の見直しにより、ムリ、ムダを省き、財源の確保やコスト削減をすることで、持続的な財政運営を行える体制を作ります。

- (1)-① 公共施設等総合管理計画の推進
(総合管理計画は策定済、個別施設計画は策定中)
- (2)-④ ふるさと応援寄附金の推進
(寄付件数 約2万件、寄付金額 約2億5千万円)
- New** (3)-② 施設維持管理経費の縮減（石岡そだち）
(廃止決定により年間約30万円の縮減) など

2. 人財の強化

実施率 100%

高度化・多様化し続ける公共サービスの市民ニーズにこたえるため、人材の育成や組織・機構の最適化を図ります。

- (1)-① 人材育成システムの構築
(職員研修実施 1,661名、人事評価を勤勉手当に反映)
- (1)-② 専門職の養成・確保
(茨城大学大学院派遣研修1名、電通派遣研修1名)
- (2)-② 多様な人材の確保による組織力の向上
(臨時職員72名、嘱託職員342名、再任用23名) など

3. 協働によるまちづくりの推進

実施率 83.3%

市民・企業・大学等とパートナーシップを構築し、地域コミュニケーションを充実させ、協働のまちづくりを推進します。

- (1)-① 協働のまちづくり条例の推進
New (市民討議会、行政懇談会、市民懇談会開催)
- (2)-⑥ 空家等対策の推進
New (空家の実態把握、泉橋付近の空家撤去実施)
- (3)-② 広聴活動の充実
(市民からの要望をデータベース化)

など

4. 行政サービスの最適化

実施率 70.0%

業務の増加が見込まれる中、市民視点からサービスの向上と利便性を図るため、行政サービスの内容・提供方法について最適化を目指します。

- (1)-① 内部事務の見直し
(職員提案件数13件のうち3件実施中)
- (2)-① 総合窓口機能の充実
(コンビニでの証明書交付、休日開庁実施)
- (3)-① 戦略的情報発信の推進
(子育て応援サイト「てとて」、移住定住サイト「MIPPE」運用開始)

など

※4つの枠内の番号は、実施計画の取組方針、取組項目、実施項目と一致します。詳しくは、行財政改革実施計画「平成30年度見直し版」をご覧ください。